

第 72 回日本医学検査学会の開催にあたり



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
代表理事 会長 宮島 喜文

会員の皆様には、日頃から一般社団法人日本臨床衛生検査技師会の活動につきましてご理解、ご協力を賜りこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、本学会を一般社団法人群馬県臨床検査技師会が担当し、メインテーマを「臨床検査技師"愛"」、サブテーマを「この素晴らしき仲間と未来へ」と掲げ、令和5年5月20日（土）～21日（日）の両日、群馬県高崎市のGメッセ群馬、高崎芸術劇場の2施設にて開催することとなりました。

本学会については、ここ数年は国の新型コロナウイルス感染対策方針に基づき開催してまいりましたが、感染対策が緩和される中、今回は従来の開催地へ会員・賛助会員、関係者の皆様にご参集いただく形式で開催いたします。

一般演題数は500演題を超え、機器等の展示会においても75社から出展をいただき、盛会となるものと考えられます。特に科学技術の進歩が目覚ましい今日、新たな技術を採用して開発された検査機器や試薬の紹介に注目したいと思います。

また、コロナ禍においては、検体採取やPCR検査に留まらずワクチン接種においても、臨床検査技師の献身的な活動に対して社会的な評価も高まりました。更には、近年の相次ぐ法律改正より、臨床検査技師の職務範囲は拡大していることから、多方面での活躍した実績や臨床の場での様々な実践例の報告があり、充実した内容になると期待しております。

本学会は我が国における臨床検査技師の唯一の学術・職能団体である当会が年1回主催する全国規模の学術集会・展示会としての役割と意義を踏まえつつ、会員・賛助会員の皆様方の活発な討議・意見交換をご期待申し上げます。末筆ではありますが、本学会に参加された会員・賛助会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念するとともに、本学会の企画、運営にご尽力いただきました井田伸一学会長を始め一般社団法人群馬県臨床検査技師会の皆様に厚くお礼申し上げます。